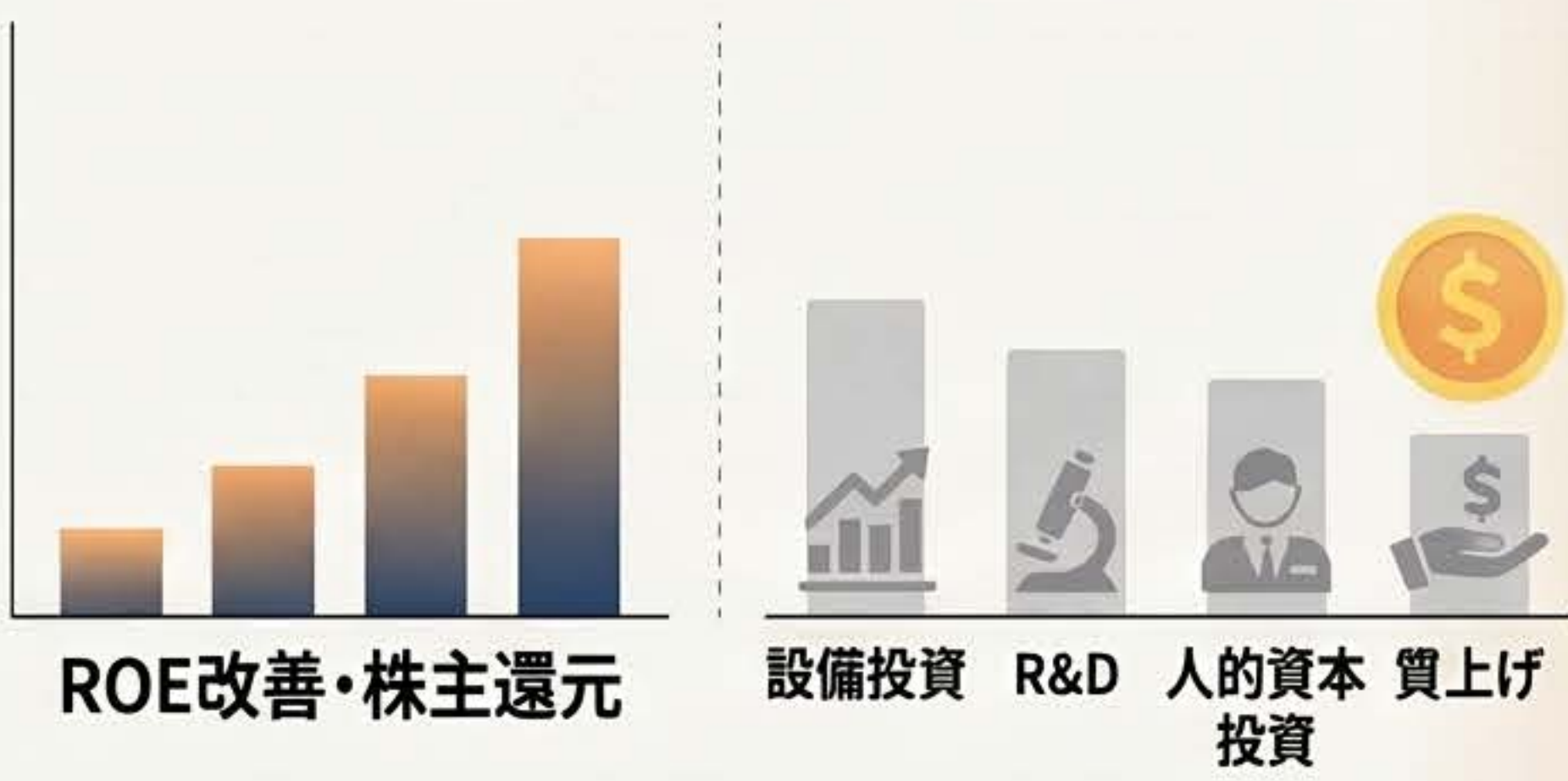


成長投資ガイダンス：日本企業を「新たなパラドックス」から救う価値創造の羅針盤

直面する課題：「新たなパラドックス」

資本効率は向上したが、成長投資が停滞

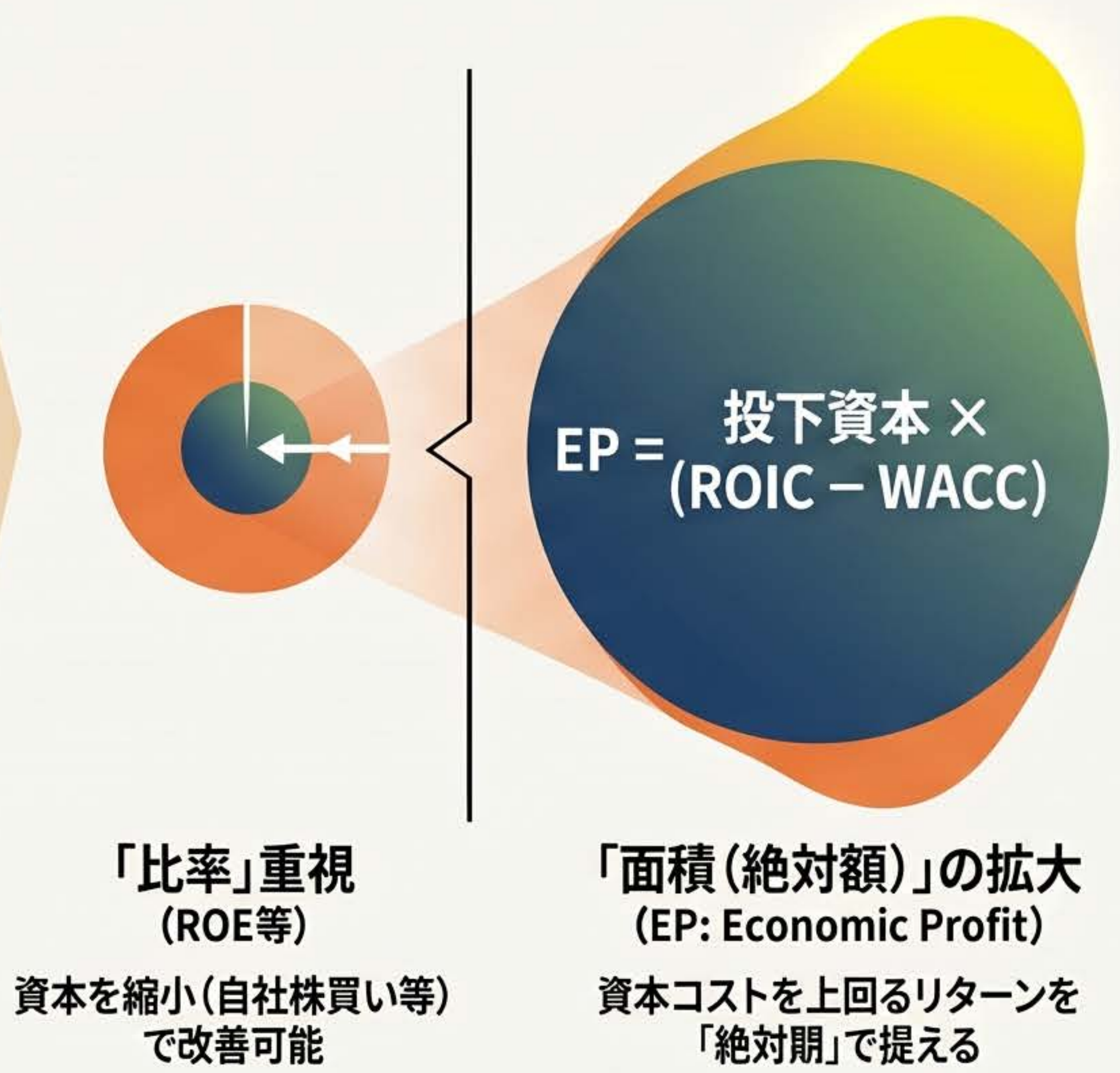


価値毀損セグメントへの資本滞留



資本コストを下回る
「価値毀損セグメント (EPがマイナス)」

ソリューション：価値創造の指標「EP」



実践：4象限フレームワークと資本配分



ステークホルダーの反応と展望



2026年: ガバナンス改革の次なるステージ

【コーポレートガバナンス・コード改訂、会社法改正と連動し、政府一体となった「成長志向型」への転換】